

# 閲覧室アンケート結果概要(平成29年度)

[資料14]

○方法: 閲覧室に設置したアンケート用紙を回収    ○期間: 平成29年4月1日～平成30年3月31日    ○回答数: 156件

## 1、選択肢中の上位回答(回答数に占める割合)

性別 : 男性(75.0%)、女性(25.0%)

国籍 : 国内(89.7%)、日本以外(10.3%)

職業 : 学生(学部・大学院)(25.6%)、教職(25.6%)

公文書館、資料館、図書館、博物館等の業務(9.6%)

来館目的 : 学術論文、卒業論文、修士論文執筆のため(41.0%)、

学術上の調査研究のため(39.7%)、趣味・歴史等への関心から(13.5%)

来館目的達成の成否 : はい(96.8%)、いいえ(3.2%)

館を知ったきっかけ : 公文書館、資料館、図書館(22.4%)、当館ホームページ(22.4%)、知人から聞いた(20.5%)、論文等で(15.4%)

資料を知ったきっかけ : 来館前にDAを見て(55.6%)、来館後閲覧室でDAを検索して(11.2%)、

来館前に友人・知人・仲間うちで聞いて(7.3%)、来館前に、論文等を読んで(7.3%)

## 2、主な意見、要望等(自由記述欄コメント)

- ・土曜日に開館しているので、地方に住んでいる者にはありがたいことです。
- ・内容をなるべく早くデジタル化してほしい。(大災害でこの貴重な文献がなくなる)
- ・デジタルアーカイブのモノクロ写真が今後カラーになっていくとありがたいです。(モノクロ写真は白黒のため薄い鉛筆の字や朱書き文字などが見えにくいです)
- ・絵図の撮影の際、全体を写す場合どうしても引きが必要な場合がある。安定した踏み台を館で用意していただければ助かります。
- ・昨年まで教員(中学・高校非常勤)をしていましたが、複数校での勤務経験の中で、国立公文書館の存在を知らない教員が少なくないと感じました。貴館は研究・教育上ですばらしい施設ですので、教育現場との連携なども検討されるのもよろしいかと存じます。

